Polyurethane welding rod,有限会社ティークラフト,R01-01-03-NT

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

- 製品名: ポリウレタン溶接棒（Polyurethane welding rod）
- 製品品番: R01-01-03-NT, 5003R1, R1400U, R1SPOOL 他
- 推奨用途: プラスチック溶接機を使用した破損したウレタン部品の修理（業務用）

供給者の会社名称、住所及び電話番号

- 供給者の会社名称: 有限会社ティークラフト
- 住所: 〒444-2134 愛知県岡崎市大樹寺 2 丁目 17-3
- 担当部署: プラスチックリペア事業部
- 電話番号: 0564-28-5319
- FAX: 0564-28-5399
- 担当者: 田中

2. 危険有害性の要約

- GHS 分類:
  - 物理化学的危険性: 分類できない（常温では危険性なし）
  - 健康に対する有害性: 分類できない（常温では危険性なし。加熱時に煙や蒸気が刺激となる可能性あり）
  - 環境に対する有害性: 分類できない
- 絵表示またはシンボル: 該当なし（Not Applicable）
- 注意換気語: 該当なし
- 危険有害性情報: 常温での使用において特段の危険性はありません。加熱・燃焼時は刺激性の煙やガスが発生します。
- 注意書き: 常温時は特になし。高温作業時は適切な換気および保護具を着用すること。煙霧を吸い込まないこと。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別: 単一製品
- 化学名または一般名: 熱可塑性ポリウレタン（Thermoplastic urethane, TPU）
- 含有量: 100%
- CAS 番号: 75701-44-9

4. 応急処置

- 目に入った場合: 異物として取り扱い、無理にこすらず流水で洗い流す。刺激が続く場合は医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合: 常温の製品では特になし。溶融した高熱のポリマーが皮膚に付着した場合は、直ちに水や氷で急速に冷却すること。付着物の無理な剥離は避け、速やかに医師の診断を受けること。
- 吸入した場合: 煙や分解生成物を吸入した場合は、速やかに空気の新鮮な場所に移動させること。症状が続く場合は医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合: 誤飲による影響は知られていない。必要に応じて医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤: 水、乾燥化学薬品、アルコール泡またはタンパク泡消火剤。二酸化炭素（CO2）は冷却能力不足のため非推奨。
- 特有の危険有害性: 燃焼、熱分解により刺激性または有毒な物質を放出する。長期間高温に保持された大量の溶融ポリマーは自然発火する場合がある。
- 消火作業者の保護: 自給式呼吸器（SCBA）および防火服を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 漏出時の対応: 慎重に掃き集め、再利用または廃棄用の容器に回収すること。下水道や水路へ流出させないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い: 静電気が蓄積される場合があるため注意すること。良好な労働衛生および安全慣行に従って取り扱うこと。換気の良い場所で使用すること。飲食や喫煙をしないこと。
- 保管: 過度の熱を避け、引火性物質の近くに保管しないこと。涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 / 許容濃度: 設定なし
- 設備対策: 通常の作業では特段の設備対策は不要だが、加熱・溶融を行う作業場所では、全般換気および必要に応じて局所排気装置を設けること。

- 保護具:
    - 呼吸用保護具: 通常の作業では不要。加熱・溶融時に煙や臭気が発生する場合や換気が不十分な場合には、必要に応じて適切な呼吸用保護具（国家検定合格品等）を着用すること。
    - 手の保護具: 溶融した高熱樹脂の接触による熱傷、および高温になる溶接トーチ先（ノズル周辺）に直接触れて火傷をするのを防ぐため、加熱・溶融作業時は耐熱手袋を着用すること。
    - 眼・面の保護具: 切削・研磨時や、樹脂の飛散・削りかすが目に入るおそれがある場合は、安全グラス等の保護メガネを着用すること。
- 衛生対策: 食事、喫煙、または洗面所の使用前に手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観: 固体（樹脂棒）、黄色透明
- 臭い: 微臭
- 溶解度: 水に不溶

10. 安定性と反応性

- 化学的安定性: 通常の取扱条件においては安定。
- 危険有害反応可能性: 発生しない。
- 避けるべき条件: 過度の熱、直火。
- 危険な分解生成物: 加熱分解時により一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有害な分解生成物を生じるおそれがある。

11. 有害性情報

- 毒性情報: 本製品としての毒性試験データはない。高温時の溶融物は皮膚熱傷を引き起こす。加熱時の煙や蒸気は上気道を刺激する場合がある。

12. 環境影響情報

- 生態毒性: 本製品についての試験データはない。水に不溶であるため環境中での移動性は低い。

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法: 許可された施設にて、関連法規（日本の廃棄物処理法等）に従い焼却または埋立処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

- 輸送規制: 非該当（規制なし / Not Regulated）

15. 適用法令

- 労働安全衛生法（安衛法）: 固体の安定した高分子化合物（ポリマー）であるため、通常、安衛法の「通知対象物質（表示・文書交付義務）」に該当しない。
- 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）: 非該当
- 消防法: 固体の合成樹脂（プラスチック）であるため、危険物（第 4 類など）には該当しません。ただし、一定量以上をまとめて保管する場合、自治体の「火災予防条例」に基づく「指定可燃物（合成樹脂類）」に該当し、保管量の届出や防火上の制限を受ける場合があります。

16. その他の情報

- 参考文献:
- パーツ供給元提供 SDS
  GHS Hazcom 2012 / GHS 分類ガイダンス
  JIS Z 7253 : 2019
  JIS Z 7252 : 2019

責任の限定および社員の健康管理について

この安全データシート（SDS）は、部品供給元から提供された情報等に基づき、JIS Z 7253 に準拠して作成しています。記載内容は現時点で入手できるデータに基づくものであり、将来の知見によって変更される場合があります。また、通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE）です。